

平成 29 年度 第三回 日高市公共施設再編・最適化の検討 に関するワークショップを開催しました。

- 開催日時 平成29年8月29日（火） 19:00～21:00
- 参加者 23名
- 会場 生涯学習センター 2階 研修室



🌞 今回のテーマ

公共施設の再編・最適化について考えよう

第3回目となる本ワークショップでは、「公共施設の再編・最適化について考えよう」をテーマに、前回までの議論から踏み込んで、各施設の詳細について掘り下げた議論が行われました。23名の市民の方々にご参加いただき、沢山の貴重なご意見をいただきました。

今回は、希望者を募り、ワークショップ開始前に市内の公共施設の現地視察を実施しました。高麗小学校、高麗郷民俗資料館、高麗公民館は建物内も見学し、高麗学童保育室、高麗保育所、高麗中学校は敷地外から確認を行いました。見学した施設の中では、市内に住んでいる方でも初めて施設内に入ったという声が多く聞かれ、様々な発見を共有することができました。建物内で得られる情報が、インターネット等他の手段では得られないという現状から、これまでのワークショップで意見のあった「情報の一覧性がない」「情報の格差がある」といった問題点が浮き彫りになりました。

<現地視察の様子>



高麗小学校では、屋内になされた耐震補強に驚く方が多くいらっしゃいました。これも、施設を長く安全に使うための処置のひとつですね。



「初めて来た」という方が多かった民俗資料館では、皆さんが「思ったより充実していて楽しい」とおっしゃっていました。施設の周知がもっと必要という意見がありました。

☀️ 公共施設の再編・最適化について考えてみよう！



第一回目のワークショップでは、「日高らしさ」について地域のアイデンティティーを、第二回目では再編・最適化を行う上で「大切にしたいこと」の共有を行いました。これらのステップを踏まえ、今回のワークショップでは、市内にある公共施設について個別に機能を再確認し、再編・最適化へ向け、施設ひとつひとつのあり方について、検討を行いました。

検討では、市内の19種類の公共施設名が書かれたカードを用意し、将来の施設のあり方について、

- ① 自宅からの施設の距離
[地区内に必要か・市内にひとつあればよいか]
- ② 施設の行政依存度
[公共度が高いか・民間と協力しての運営が可能か]



…を議論しながらマトリクス図に配置し、施設の特性を整理しました。この作業を通じて、施設や機能の複合化案が挙がり、また機能を移転することで、ハードとしての施設を減らせるのではないかという意見が挙がりました。新しいものを取り入れて民間の力を積極的に使っていききたい班や、市の施設はあくまで市の運営によるものであると考える班など、4つのグループそれぞれで傾向が異なる結果となりました。

☀️ 各地域の視点から考えてみよう！



ワークショップの後半では、参加者の居住地域のグループ[高麗・高麗川・高萩]に分かれ、次回に向けての意見出しを行いました。冒頭では地域の特徴の再確認を行い、その後、前半で行われた検討結果についての感想を述べました。

人口が多い高麗川地域では、市内に一つ配置されているような施設が全て地域内にあるため、機能が集約されており、暮らしやすいという意見が多くありました。また、地区ごとに小学校・公民館が配置されているため、住民同士の関わりが深いという点が日高市の良いところだという共通の認識があります。高麗地域では、生徒数が少ないことから小中学校の教育が充実している一方で、中学校までクラスのメンバーが同じまま続くことが問題でもあることが指摘されました。施設配置だけでなく、機能や通学する生徒の視点からも再編・最適化を考える必要があるという意見が挙げられました。

☀️ マトリクス図による施設の整理結果

4チームの施設カード配置結果は、以下のようになりました。

凡例

● =マトリクス上にてカードが配置された場所

	行政依存度			距離		
	民間と協力して運営	どちらでもない	公共性が高い	自分の地区に必要な	隣接地区にあればよい	市内にあればよい
庁舎・出張所	●		●●●●	●●●●		
消防・防災施設			●●●●●	●●●●	●	
小学校		●	●●●●	●●●●●		
中学校			●●●●●	●●	●●	
教育センター			●●●●●	●		●●●●
給食センター	●●●●		●			●●●●●
保育所	●	●●●●		●●●●●		
学童保育	●	●●	●	●●●●●		
児童室	●●		●	●●●●		●
児童ふれあいセンター	●	●	●	●●●●		●
	行政依存度			距離		
	民間と協力して運営	どちらでもない	公共性が高い	自分の地区に必要な	隣接地区にあればよい	市内にあればよい
総合福祉センター「高麗の郷」	●	●	●●			●●●●●
保健相談センター	●		●●●●			●●●●
生涯学習センター	●●●●	●				●●●●●
公民館		●	●●●●	●●●●		
高麗郷民俗資料館	●	●	●●			●●●●●
スポーツ・レクリエーション系施設	●●●●	●			●	●●●●
市営住宅	●	●	●			●●●●
農村研修センター						
供給処理施設		●	●			●●

☀ 今回のワークショップで挙げた主な意見

施設分類	参加者から挙げた主な意見
1. 行政系施設 ○庁舎・出張所等 ○消防・防災施設	<ul style="list-style-type: none"> 出張所はコンビニ等民間と提携し、近所でいつでも利用できるようにしてもらいたい。 出張所の施設配置、機能共に現状維持でよい。 出張所は基本機能である。高齢者が多いため、身近に必要。土日もやってほしい。 消防団施設は住民でないと対応は難しい。また信頼関係によるもののため、民間委託はむずかしいのでは。 消防団施設は近隣地区にあればよい。 消防団施設は、ハードは官に、運営は住民でできることもある。
2. 学校教育系施設 ○小学校 ○中学校 ○教育センター ○学校給食センター	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校は公共度が高いが、校区はオープンにできるとよい。 学童・相談機能を併設するなど、教育施設数を減らす。小学校を多機能施設にする。 小学校は6地区に必要なが、中学校は統廃合を行い、近隣地区にあればよいのでは。中学生は自転車通学が可能である。 教育センターは、県に取り次ぐ窓口では意味がない。民間と提携して多様な相談に対応できるようになるのであればまかせたい。 教育センターは公共性が高い。 給食センターは民間委託でもよいが、食の安全を考えると公共のままが安心である。
3. 子育て支援施設 ○保育所 ○学童保育室 ○児童ふれあいセンター ○児童室	<ul style="list-style-type: none"> 保育所は毎日使う施設だから、自分の居住地区内の利便性のよい場所にほしい。また、学童保育室や児童ふれあいセンターと併設。 学童を保育所、もしくは小学校に併設する。機能は各地区に必要な、近くにあることが大事。
4. 保健・福祉施設 ○総合福祉センター ○保健相談センター	<ul style="list-style-type: none"> 保健相談センターの機能は昔は公民館にあった。他施設と複合して、各地区に拠点があると便利。共働き家庭が増える中、柔軟な利用(近くにある、18時以降も対応できる等)のためには、場合によっては民間の力を借りる必要がある。 児童室、児童ふれあいセンター、総合福祉センターと一緒に。高齢者、子育ての福祉を分けず一括にした方がよい。 市にあれば良い施設であるが、テレビ会議ができるようにして、窓口は公民館や出張所に設置したい。 現状のままでもよい。
5. 市民文化系施設 ○生涯学習センター ○公民館 ○高麗郷民俗資料館 ○高麗郷古民家	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターは多機能施設のため、機能を充実するために一部民間の運営があってもよい。 生涯学習センターを民間運営にすることで、だれでも利用できるようにしたい。 公民館はコミュニティの基本であり、今後も6地区の一つ必要な拠点である。 テレビ会議ができるようにして、遠方施設と結んで、公民館や出張所でも、福祉や子育て相談できるようにしたい。 地区に作れない施設は、機能をつなげばよい。 公共性は高いが、自由な利用のために委託するのはよい。 民俗資料館は、観光施設として位置付けるならば民間と協力できるとよい。 高麗郷民俗資料館、高麗郷古民家「旧新井家住宅」は一緒にして内容を充実させる。建物は市でよいが、運営は民間に。
6. スポーツ・レクリエーション系施設 ○文化体育館 ○市民プール ○北平沢運動場 ○日高総合公園	<ul style="list-style-type: none"> 現状のままでもよい。 民間委託でよい。 設置場所は現状でよいが、経営や運用は民間に任せて有効活用する。 市民プールは小中学校のプールをうまく活用する方法もある。将来的な活用は難しいのでは。 現状でもよいが、地域広域連携での施設の在り方を考えても良いのではないかと。
7. 市営住宅	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅は公共性が高いため、民間委託は難しい。 市営住宅は公共性が高いが、箱物で持つ必要はない。補助金などのサービスに移行して、箱モノは無くてもよい。 市営住宅は行政の基本機能であるが、民間企業をうまく使えばよい。 市営住宅は、老朽化が進んでいるが、将来的には建替えるのではなく団地を借り上げを検討する。
8. 農村研修センター	<ul style="list-style-type: none"> 機能は必要であるが、この建物でなければならぬ理由はない。 廃止してもよい。 現状のままでもよい。 機能としては市に一つあればよいが、公民館で対応可能ならば、各地区での利用ができて便利なのでは。 いらぬのでは。現状のまま使いきる。そしてもっと有効活用できれば。 日高で農業は重要であり機能が必要であるが、単独の箱物の必要はない。統合した施設の中であればよい。
9. 供給処理施設	<ul style="list-style-type: none"> 現状のままでもよい。
10. その他	<ul style="list-style-type: none"> 市の持ち物ではないが、自治会館との連携でもっと便利になると考える。 各自治会では自治会館を保有し、有料で部屋を貸し出している。これをもっと活かしたい。